

教科	工業	科目	デザイン技術	単位数	2単位
学科	繊維デザイン科	学年	3学年	コース	デザインコース
学習目標	デザインに関わる造形理論や用具材料などの基礎知識を学ぶことで表現の幅を広げ、各制作の質を上げる助けとする。制作実習を通して、人の知覚に沿った表現方法を学ぶ。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	<p>1 デザインとは</p> <p>(1) デザインの領域</p> <p>(2) 造形活動とデザイン</p> <p>(3) デザインの展開と未来</p> <p>2 自然形態</p> <p>(1) 自然とデザインのかかわり</p> <p>(2) 自然形態の分類</p> <p>(3) デザインの規範</p> <p>ア 外形の模倣</p> <p>イ 機能・浩三の規範</p> <p>ウ 美的形式の範型</p> <p>3 人為形態（人工形態）</p> <p>(1) 人為形態の特性</p> <p>(2) 造形の素材としての人為形態</p> <p>4 形態の知覚とその対応</p> <p>(1) 形態の認識</p> <p>(2) 視覚について</p> <p>(3) 錯視（視覚的錯誤）</p> <p>(4) 錯視の修正</p> <p>(5) 視覚の法則</p> <p>5 表現の技法</p> <p>(1) 具象（物）の構成</p> <p>ア 樹木による構成</p> <p>イ 鉦物による構成</p> <p>ウ 人物による構成</p> <p>エ 動物による構成</p> <p>オ 人工物による構成</p> <p>(2) 抽象的な構成（幾何学的構成）</p> <p>ア 線による構成</p> <p>イ 面による構成</p> <p>ウ 定形の中の構成</p> <p>エ 組み合わせによる構成</p>		<p>・デザインの歴史の流れを振り返り、必要な各要素の統合を考えている。【A・D】</p> <p>・サステイナブルデザイン、ユニバーサルデザイン、バリアフリーとは何かを理解している。【A・D】</p> <p>・デザイナーに求められる力としての、観察力、表現力、発想力、造形感覚、生活や技術に関する理解、総合的な計画力などを理解している。【B・C・D】</p> <p>・自然を観察し研究して、その外形のみでなく、機能と形態、構造と形態、形態と色彩の関係などを理解している。【B・C・D】</p> <p>・自然形態の分類を行い、写実的表現、単純化した表現、変形した表現、単独の表現、組合せの表現などを描くことができる。【C・D】</p> <p>・各種錯視の例を見て、作画の際に修正を行うことができる。【B・C・D】</p> <p>・各種錯視の例を見て、作画の際に利用できる。【B・C・D】</p> <p>・地と図形の、図形になりやすい条件12種を理解し、制作に生かせることができる。【B・C・D】</p> <p>・構成を通して、描写と省略の実際を学ぶことができる。【C・D】</p> <p>・構成を通して、構成とは何かを考え、再構成を試みる意欲を養うことができる。【A・C・D】</p> <p>・構成を通して、バランスの取れた緊張した空間を作ることができる。【C・D】</p>		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】思考・判断・表現 【C】技能 【D】知識・理解				
評価方法	課題、出席状況、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	デザイン技術（海文堂）				
備考	デザイン技術は繊維デザイン科コース科目であり、デザインコース対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。